

# INTERNATIONAL SOFT TENNIS CAMP 2023

2023.12.25-2023.12.31

Aurangabad, Maharashtra,  
India

Powered by  
Sports NARO & BIGCONC



**Mahatma Gandhi Misson  
MGM University**

# DAY

2023.12.25-2023.12.31  
(Lesson 12.27-12.30)

# PIACE

Mahatma Gandhi Mission University  
(Aurangabad, Maharashtra, India)

# MEMBER

COORDINATOR

Medemi MATSUI

MGM STAFF

Nilesh HARDE  
(MGM Director)

COACH

Mitsuaki MINARO  
(Sports NARO)

STAFF

Daigo HARA  
(BIGCONC)

STAFF

Riku KIMURA  
(BIGCONC)

# PLAYERS

Vyankatesh Nalawade

Shravani Harde

Veer Jain

Janhavi Shinde

Sai Aaghate

Ahil kalyankar

Siya Jain

Indrani Patit Parathe

Aaryan Bade

Arya Deshmukh

Smarth Bobde

Aryan Harde

Rohit Jaiswal

Kartikuy Bhale

Samarth Pratap Ranjat

Aditya Sawargavkar

Kuber Chavan

Anushka Hirwale

Amika Shetty

Kartikuy Bhadle

Rishit Hirwale

Pratush Bagul

Vihan Kadke

Vihan Dagde

Ranak Bajaj

Devanshi Patil

# JAPANESE SOFT TENNIS TO INDIA



コロナ期間を経て今年で7回目を迎えたインド・アウランガバードでのインターナショナルソフトテニスコーチキャンプ。インドと長く交流がある松井愛美さん（写真左）が第1回大会の発起人として、今回までの7回全て普及活動に携わられています。スポーツナロのナロさん（皆呂充亮社長/写真右）は、今回で3度目の参加。メインコーチとして現地の子ども達に日本式ソフトテニスレッスンを行いました。

今回同行したのはNPO法人ソフトテニス振興会BIGCONCの原大湖（写真右）、木村陸（写真左）の2名。2020年より、国内にて大会・講習会企画運営を通して普及活動を行っています。共に22歳の学生がインド行きを決めたのはナロさんからの1本の電話でした。『インドに講習会をしに行くけど一緒に行かない？』という言葉に即『行かせてください！』と即決したのが今回の始まりです。インドでの国際普及でインドに何を残せるか、日本に何を持って帰れるか、2023年最後のイベントとして出国しました。



目的地MGM大学（Mahatma Gandhi Mission Univ.）まではムンバイ空港から車で約6時間ほど離れたところにあります。あのマハトマ・ガンジーの哲学とイデオロギーを基に1982年に創設されました。日本でいうと慶應義塾大学のような大学です。ここに所属するクラブチームにて第1回から講習を行なってきました。



12月のインドは最低気温15度、最高気温30度(滞在期間中)と日本の夏よりも過ごしやすい気温。しかし乾燥している為、汗が出ることは少ないです。汗が出てくる前に乾いてしまうからです。朝晩は過ごしやすい気温ですが日中は日差しも強い冬のインドでした。

## TEAMS DETAILS

# MGM Univ. Soft tennis Club



MGM SOFT TENNIS CLUB

8歳から23歳まで幅広く所属しているMGMソフトテニスクラブです。世界選手権大会出場者を輩出するなど、インドソフトテニス界を牽引しています。指揮を取るのはニレッシュ監督（写真中央）。彼はソフトテニス競技を長くプレーされ、現在は後継者育成のため、MGM大学職員としてソフトテニス部門を担当されています。インド内ではラケットやボールの流通がかなり限られており、貴重なものです。子供たちはラケットを抱き抱えるようにいつも大切に使っています。ボールは特に貴重で、日本円で1球約2,000円しかも中古品でこの値段がします。今回インドに行くにあたり、ボールのご寄付をいただきました皆様に感謝を申し上げます。子供達のもとへ届けることができました。



そして、写真左側の男性はビベンカ・ティッシュコーチ。彼はMGM大学ソフトテニスクラブ出身です。幼い頃からプレーを続け、現在は選手兼コーチとして取り組んでいます。インドには28の全ての州にクラブチームがあります。しかし、道具や指導者不足など環境は決して良いと言えるものではありません。それでも、人口が増加していること、ソフトテニス関連の流通が少しずつ増えていることも含め、今後の活躍が非常に楽しみな地域です。



ビベンカ・ティッシュ コーチ

# DAY1 STROKE

レッスン初日はストロークをテーマに行いました。半分ほどの選手が初めて1年未満のチームだったためメニューは基本を重点的に入れました。松井さん以外はあまり英語が堪能ではなかったため、シンプルなワードと、笛を使ってリズムを通してコミュニケーションを取りました。練習のリクエストで上がったのは日本式のバックストローク。フォアで原理を伝えて成功体験を作ってからバックへ。難しい動きながらも熱心に話を聞き、見るみる成長していきました。1日が終わる頃には午前中とは見違えるほどのヒット率とコントロールが生まれました。子どもたちも自分の成長ぶりに大喜びしながら取り組んでいました。

を聞き、見るみる成長していきました。1日が終わる頃には午前中とは見違えるほどのヒット率とコントロールが生まれました。子どもたちも自分の成長ぶりに大喜びしながら取り組んでいました。



ボディーランゲージとパッションで子供たちに指導をしました。子供たちは理解すると首を横に振ります。日本ではNOという意味ですが、インドではYESなのです。

# WORLD HERITAGE ELLORA GAVES

滞在期間中には世界遺産エローラ石窟寺院へ。  
1つの大きな岩を掘り下げて作られた迫力あるもの。  
訪れた日はヒンディー教にとって大切な日だったため  
多くの地元の方が参拝に訪れていた。

# DAY2 VOLLEY

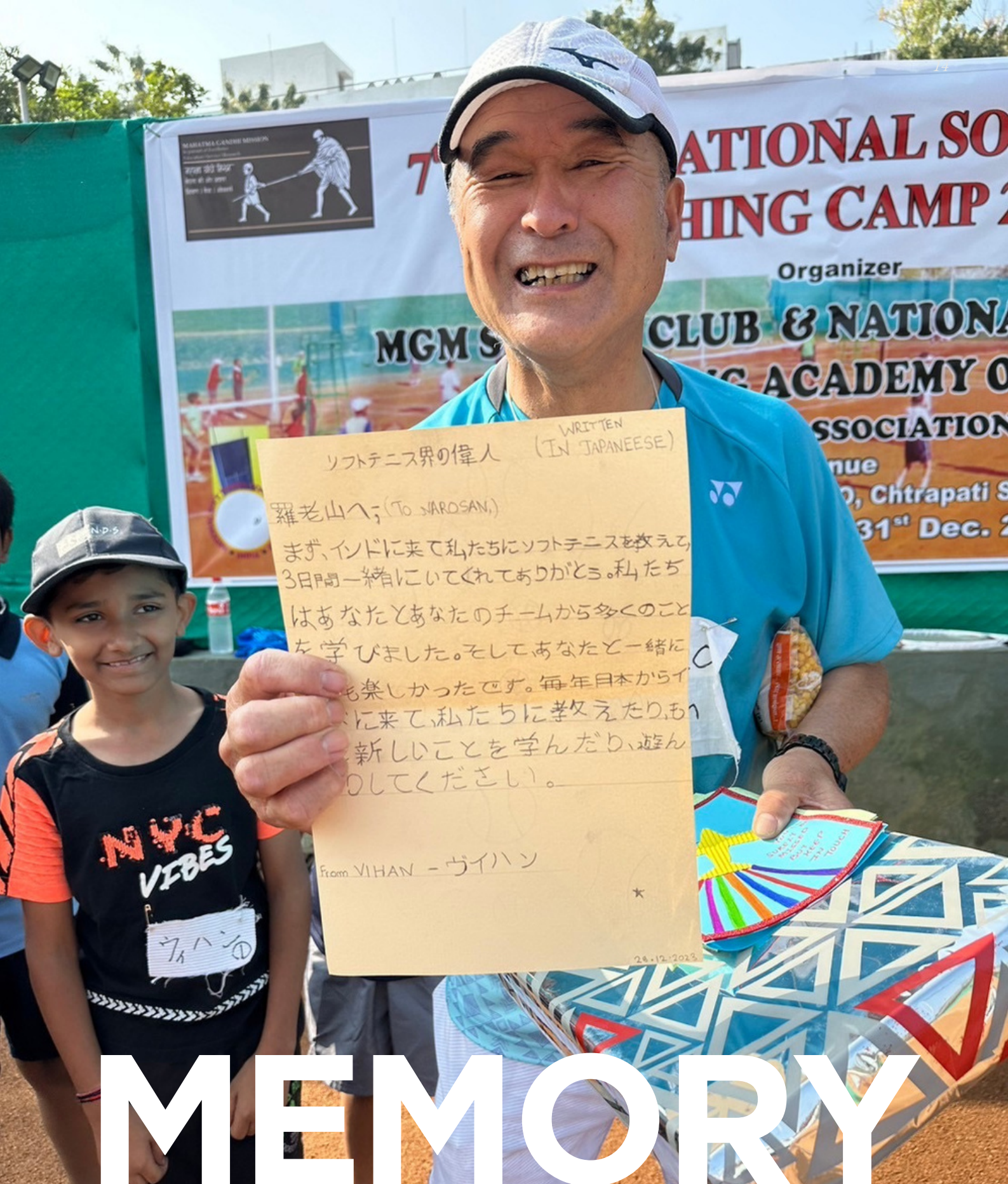


2日目はボレーから始まりました。このチームの中には硬式テニスを経験したことがある選手もいます。本来のボレースタイルを知らない選手も多くいます。まずはイメージから。ナロさんの笛のリズムに合わせてステップとインパクトの瞬間を頭にイメージして…松井さんの熱い指導も実になりあつという間に綺麗なボレーができるようになりました。伸び代だらけのインドの子



供達。我々にできることはヒントを与えてあげることです。どこまで成長できるかは、彼らの熱量によって決まりますが、子供達の熱い視線は間違いなく成長へ一直線です。





ソフトテニス界の偉人 (WRITTEN IN JAPANESE)  
羅老山へ; (To NAROSAN)  
まず、インドに来て私たちにソフトテニスを教えて、  
3日間一緒にいてくれてありがとう。私たち  
はあなたとあなたのチームから多くのこと  
を学びました。そしてあなたと一緒に  
も楽しかったです。毎年日本からイ  
ンドに来て、私たちに教えたり、お  
もしろい新しいことを学んだり、遊ん  
でください。  
From VIHAN - ヴイハン

# MEMORY

最終日、子供達から心のこもったプレゼントがナロさんに贈呈されました。  
ヒンディー語を使う子供達にとって日本語はとても難しいはず。  
そんな中長文で想いを込めて書いてくださったメッセージに  
ナロさんの目には涙が。  
現地でしか味わえない、そんな体験がそこにはあります。



# DAY3 OTHER



講習3日目。この日の午前中でナロさんは日程の関係で帰国されました。最後はローボレーの練習方法を伝授し、帰路へ。子供達からは最後の最後までSee you next year, Please come backと、嬉しくまた、名残惜しい言葉を沢山かけてくださりました。その後はサーブ練習を行いました。インドではあまり馴染みはないものの興味・リクエストがあったカットサーブも行いました。すぐに使いこなす選手も何名かおり、本当に彼らの潜在能力は楽しみ仕方ありません。午後はクラス別に分かれてゲーム形式へ。あまりゲーム形式練習をしたことがない様子だったため、なぜこの練習をするのか、そしてどういう形でやると効率よくできるかを考え、コミュニケーションを取りながら行いました。まさに試合のための練習さながらの雰囲気、ナイスボールの声かけも選手同士で積極的に行っていたのが印象的でした。



言語の壁はボールのラリーと音、そして反応によってなくなりました。どうしたらもっと上手くなるのか…子供達からも積極的に質問がありました。



# DAY 4 TOURNAMENT

お楽しみのミニ大会。レベルと男女別に分かれて行った大会は練習には見せなかった。子供達の表情がそこにはあったよりうまくなるためには…  
そんな探究心をも持ち続ける彼らは将来有望間違いなし



ここまでの3日間の講習でどこまで技術がついたのか、試合を通して成功体験を得てもらいながら確認をしていました。練習とは全く異なる良い緊張感で行われました。ラリーがうまく続いたポイントは失点しても大喜び。ここまでうまくなった！と素直に喜ぶ姿にインドソフトテニス界の希望と明るい未来が確かに見えました。



男子優勝ペアはBIGCONC原・木村とのエキシビジョンマッチに挑戦。なんと1-4でインドペアの勝利！とてつもなく力強いストロークが漲っていました。ノータッチのサービスエースも3本取られ、高速サーブの高確率には驚きました。接戦となったゲームに子供達も大興奮！

講習を終えて

# 私たちにできること

インドでの滞在期間、教えに行った身が教わることの方が  
多い貴重な時間を過ごすことができ、本当に多くの



ことを学びました。インドソフトテニス界は、決して良いとは言い切れない環境下での練習、指導者不足、道具不足…と多々課題はあります。でも必要なのは『ソフトテニスが好き』『上手になりたい』この気持ちなのです。彼らは本当に時間を無駄にすることなく、走ってボールを拾い、一球たりとも無駄にせず練習に取り組んでいました。そんな彼らに私たちは何ができるか。インドに行って一緒にプレーをするのは1つの手段です。でも、日本から20時間以上かかる為、簡単に行ける距離ではありません。では何ができるか。同じソフトテニスの仲間が頑張っていることを知った上で日頃の練習することだと思います。私たちはインドと比べると環境は整っています。ボールがあり、ラケットもある状況に慣れていませんか。普段当たり前のようにプレーができてるのは奇跡的なことなのです。そして常識ではないのです。私たちもより真剣に、そして頑張ることによってソフトテニス界はさらなる高みを目指せると思います。

ラリーに言語はいらない。ソフトテニス競技を世界中、インド中で親しみ、楽しんでもらうために、私達の練習や試合も精一杯臨みましょう。海を超えた先にいるライバル達も頑張っています。



# INTERNATIONAL SOFT TENNIS CAMP2023



# MGM UNIVERSITY

2023.12.25-2023.12.31

SPORTS NARO

**NPO法人ソフトテニス振興会BIGCONC**

発行元:NPO法人ソフトテニス振興会BIGCONC  
〒300-2645 茨城県つくば市上郷3316  
bigconc2020@gmail.com